２学期始業式講話

　ものすごーく暑い夏休みから、お帰りなさーい！みなさんの元気な笑顔を見ると、校長先生との終業式の約束、「夏休みを安全に過ごして、９月１日の始業式に元気に登校してくること」は、みなさんしっかり守れましたね。

さて、夏休みは楽しかったでしょうか？山や海に出かけた人、キャンプに行った人、スポーツクラブの合宿に行った人、田舎や親せきの方の家に行った人、映画やイベントに出かけた人・・・、みなさん一人一人にいろいろな思い出が残る夏休みだったことと思います。

まだまだ、暑さは残りますが、この後に秋がやってきます。秋には、みなさんのための学校行事がたくさん待ってます。１０月１８日（土）には、運動会、１１月１日（土）には、開校110周年記念式典・集会、１１月２９日（土）には、学習発表会があります。今度はみなさん一人一人が、それぞれの行事に向けて目標を立てて、努力してがんばり、充実した２学期にしていってほしいと思います。期待しています。

さて、校長先生はこの夏休みにものすごく素晴らしい人物と出会いました。直接出会えたわけではありません。テレビの画面を通してですが、校長先生はその人物から、努力することの大切さと感動をもらいました。その人物は、高校三年生です。この人物です。・・・写真を見せる・・・みなさん知ってますか？

この夏の甲子園でベスト８に入り、大活躍した県立岐阜商業高校の、横山　温大（よこやま　はると）選手です。知っている人もいたと思います。また、知らなかった人も多いと思います。少しこの人物の説明をしたいと思います。聞いてください。

実は、横山選手は、生まれつき左手の人差し指から小指がありません。でも小さいころから野球が好きで苦労しながら、一生懸命に練習してきました。お母さんが「そんな体に産んで、ごめんね」と涙を流した時に、横山選手は「両親にそんな気持ちをさせたくない」と心に誓いました。幼い頃から「左手があったらもっと上手くなれるのに」と思うこともありましたが、努力で乗り越え、野球を続けてきました。

左手のハンディキャップのために右利きなのに左打者となったり、はじめは指のない左手に縛り付けて使っていたグローブを右手にはめて、ボールを捕ったら左脇に挟んで右手でボールを掴んで投げたり、想像を超える努力をしました。「人と違う分、人より努力しないといけない。」と横山選手は言っています。

その結果、夏の甲子園大会で、４安打２打点打率３３３でチームをベスト８に導きました。

校長先生は、横山選手がまだ高校生なのに素晴らしい人物と出会ったと思えるのは、自分にハンディキャップがあっても、決してあきらめることなく、前向きに人一倍練習したり、工夫しながら技術を磨いたりできたことを知ったからです。甲子園で輝きながら活躍する横山選手に、感動したくさん応援しました。

さて、みなさん、横山選手の話を聞いてどう思いましたか？みなさんも苦手なことやできないことがたくさんあると思います。そんな時、簡単にあきらめてしまってませんか？なかなか横山選手のようには、できないかもしれませんが、あきらめずに努力してみる。みなさんに、そんな気持ちを少しでももってほしいと思って、今日の話をしました。

　最後に、この夏休みは暑くて家の中でゲームやYouTubeばかりやって、すっかり一日の生活のリズ

ムが乱れてしまったという人がいると思います。みなさん一人一人に、自分の健康・コンディションを

しっかり整えてほしいと思います。生活習慣を整えるがんばりウイークもあります。家や学校での勉強

や生活のリズムを整えてください。よろしくお願いします。